JACIC研究助成事業成果報告会
第2022-5号

若年層の市民参加促進のための
インターネットを活用した意見提出喚起手法

2023年11月8日

東京理科大学　創域理工学部　社会基盤工学科

寺部慎太郎

（松尾澪との共同）

背景・目的

- 積極的な市民参加を求める新しい合意形成
  → 円滑な進行 / 透明性確保 / 持続可能なまちづくり

京都市 100人委員会

- パブリックコメントの形骸化 / 若年層に浸透していない
  例：R3年度 江東区都市計画マスタープランパブコメ

意見提出者のうち	60代以上 約37%	30代以下 **約19%**
（全人口のうち	60代以上 約26%	30代以下 約42%）

- 年代により求める都市将来像が異なる
  例：R1年度 野田市市民意識調査

10代 いじめ/虐待/DV対策	（42.9%）	⟷	70代 道路の整備（25.4%）
20代 鉄道の充実	（28.8%）		80代 高齢者支援（21.0%）

目的

まちづくり計画策定の過程において，若年層の**意見提出を促進**し，
かつ**簡単に行政が導入**できる手法の検討

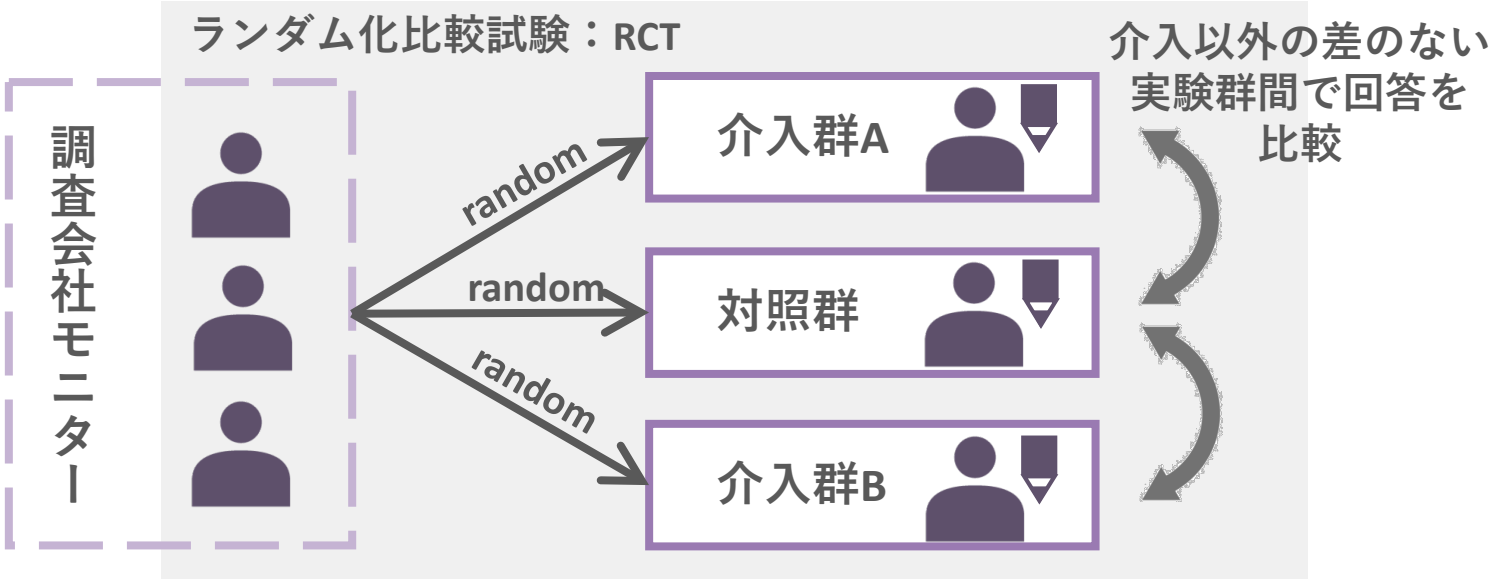
実験の流れ

ねらい

- 若年層が参加しやすい媒体において，他者意見の表示が意見提出に与える影響の検討

流れ

1. 効果を検証したい介入を設定
2. 対照群と，それと介入以外の差のない介入群対象のアンケートをそれぞれ作成
3. 調査会社に登録しているモニターにランダムにアンケートを配布し回答を得る
4. 対照群と各介入群間で回答を比較し，効果を検証



実験：他者意見の表示が意見提出に与える影響の検討

市民参加手法：計画に関するSNS投稿

想定

- 市が計画策定前に意見募集の投稿を発信
- その内容を見たうえでお題（#）に回答

仮説

- 若年層の意見は　行政の発信内容 / 他者の意見内容　に影響を受ける

介入：行政のSNS投稿の内容等を変更

ツイート投稿（上部分）

- 意見を募集しています．〇/〇までです．ご意見ください．　（＝行政らしい）
- 意見を募集しています．　～な計画です．ご意見ください．　（＝簡単に説明）

リプライ欄：他者意見（下部分）

- 全て4つのリプライを表示
- ポジネガ比を変える（P:N = 1:3, 2:2, 3:1）

実験概要

対象

- 全国18～35歳の男女約4500人

日程

- 2022/10/7（金）～11（月）

調査項目

- SC調査（性別・年齢）
- 意見募集
  - ① #わたしのもつスマートシティのイメージ
  - ② #わたしの街がスマートシティになるなら何から始めてほしいか
  - ③ #スマートシティ計画を進めるときに行政にしてほしいこと
  - ④ #将来住む町の絶対条件3つ

群間の分析

1. 内容ある意見の数の差の検定
2. 意見内容の比較

実験群と提示画像の対応

	文面	リプ P : N
1	行政ぽい	1 ： 3
2		2 ： 2
3		3 ： 1
4	簡単に説明	1 ： 3
5		2 ： 2
6		3 ： 1

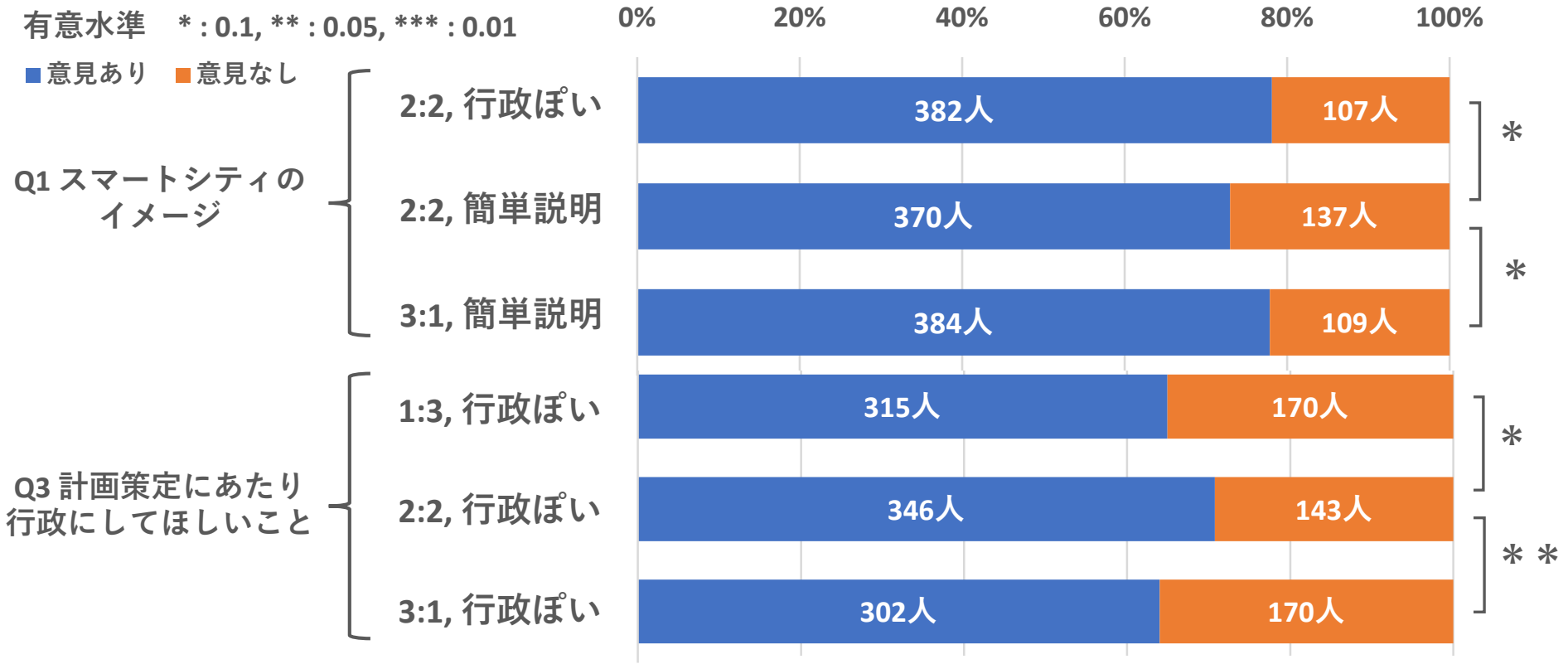
分析１：実験群間の意見あり数の比較

・ 設問ごとに 意見あり / なし の数を群間比較
・なし：「なし」等の回答，意味のない文字羅列など　　あり：なし以外

独立性の検定（カイ二乗検定）より

- P:N＝２:２のとき　簡単な説明よりも　**行政的な文章**の方が　意見数 増
- 簡単に説明したとき　P:Nが均等よりも　**不均等**の方が　意見数 増
- 行政的な文章のとき　P:Nが不均等よりも　**均等**の方が　意見数 増

有意水準　* : 0.1, ** : 0.05, *** : 0.01



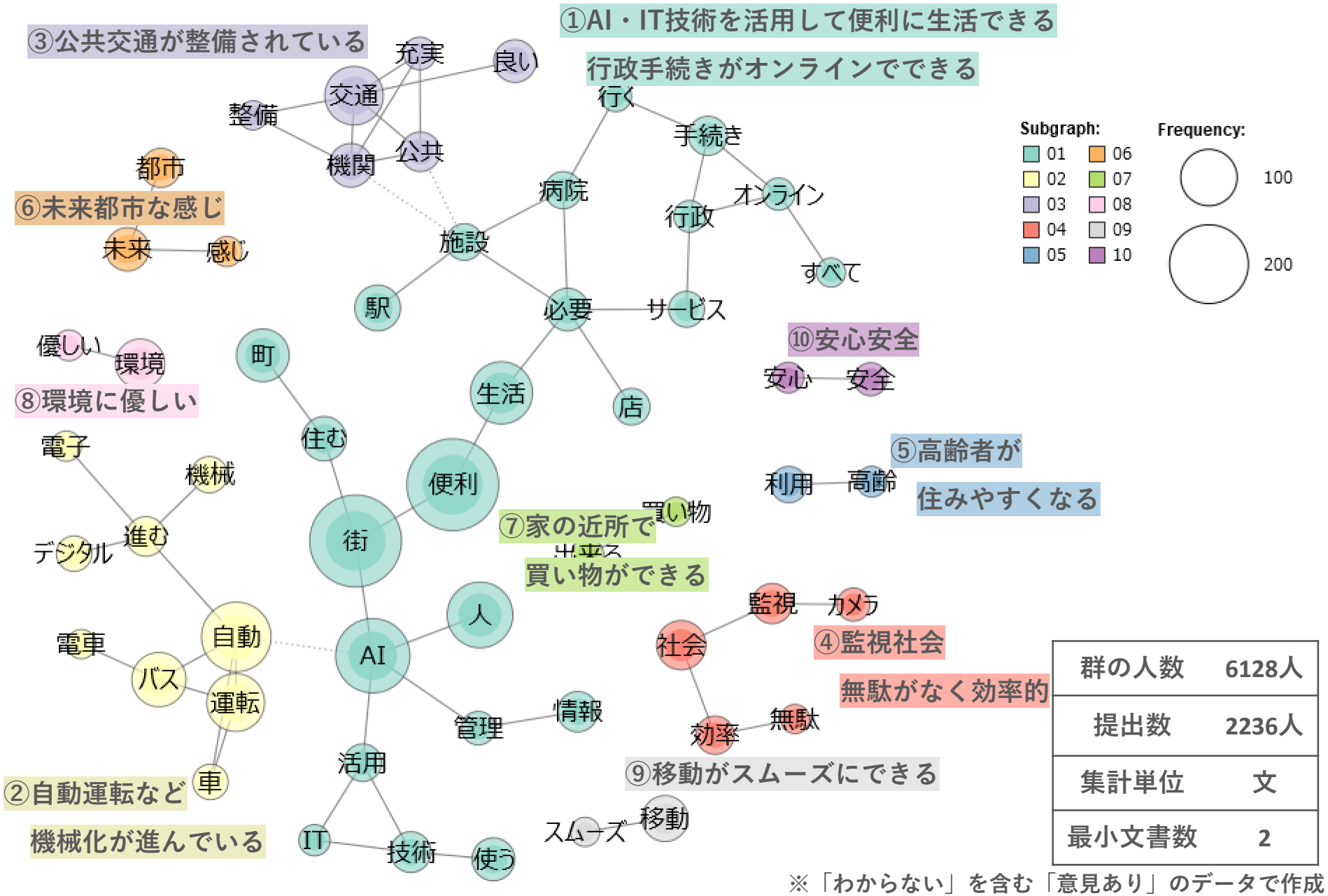
意見数の比較の考察

- 「行政らしい文面」と「他者意見の賛否が均等（2:2）」の組み合わせ
  → 意見数 増

行政の立場から，公平であることが被験者の意見提出に影響する？

- 簡単な説明 ＋ ポジティブが多い他者意見
  → 考察が難しい
  次の内容分析（共起ネットワーク）から理由を考察

分析２：内容分析（共起ネットワーク） 例 Q1被験者全体



群の人数	6128人
提出数	2236人
集計単位	文
最小文書数	2

※「わからない」を含む「意見あり」のデータで作成

Q1_実験群間のトピックの違い

	文面	リプ P : N	全体イメージ	特徴
1	行政ぽい	1 : 3	ポジ	・「最新技術」により「効率」的で暮らしやすい ・「子供」「子育て」にも言及 ・リプ欄の意見による影響 低
2		2 : 2	ポジ	・「カメラ」は安心安全だが「監視社会」への抵抗感 ・リプ欄の意見による影響 中（キーワードに反応）
3		3 : 1	ネガ	・「カメラ」は安心安全だが「監視社会」への抵抗感 ・自分が管理しやすくなる ↔ 管理されることへの恐怖/嫌悪感 ・リプ欄の意見による影響 中
4	簡単に説明	1 : 3	ポジ	・リプ欄の意見による影響 高（同調するようなネガティブな回答）
5		2 : 2	ポジ	・「監視社会」への抵抗感 ↔ 「安心安全」なイメージ ・リプ欄の意見による影響 低
6		3 : 1	ポジ	・リプ欄の意見による影響 高（同調するようなポジティブな回答）

内容分析（共起ネットワーク）考察

意見数の増加の理由（簡単な説明 ＋ ポジティブが多い他者意見）

- 他者意見のポジネガ比が2:2よりも，3:1の方が他者意見に同調する意見多い

→ 計画内容の理解度上昇 ＋ 波風を立てにくいポジ意見の同調

内容分析（共起ネットワーク）の比較：実験群３

- 全体的にポジ内容が多いが，P:N ＝３：１で他よりもネガ内容が目立つ
  ＝ 介入のP:Nと反対方向のP:Nの意見

仮説：同調効果がある　→　結果：なかった

→ 多くのポジ意見の中にあるネガ意見が際立って見えた？

→行政としての中立性を保つべく，逆の意見を述べて中立化する？

結論

- 仮説「意見は対象計画の内容/行政の発信内容/他者の意見内容に影響を受ける」
  → 一般的に意見募集をするにあたり
  他者意見提示は意見に影響を及ぼすが，その賛否の提示の仕方には注意が必要

意見提出数を増やすなら
- 投稿が行政らしい文面で，かつP:Nが均等
- 投稿が簡単な説明文面のとき，P:Nが不均等

⇒ 行政が意見を募集する場合，意見募集の文面と，同時に提示する他の意見の賛否割合を操作すれば，**意見提出を喚起**できる．

- ポジティブな意見が多数派の場合，ネガティブな意見が際立ち，キーワードが誘引される？　＝「キャンバスの一点」？

- 課題
  - 異なる計画内容・具体文面・他意見の内容で実施しても同様の効果があるのか